

## 応用統計学会チュートリアルセミナーのご案内

応用統計学会 2018 年大会が 2018 年 3 月 28 日(水) に統計数理研究所にて開催されます。応用統計学会では、日本計量生物学会と合同で年会の翌日の 29 日午前にチュートリアルセミナーを企画しました。奮ってご参加ください(チュートリアルセミナー参加費は年会とは別ですのでご注意ください)。また、最新の情報は応用統計学会ホームページ (<http://www.applstat.gr.jp/>) にてご案内します。

1. 日時：2018 年 3 月 29 日 (木) 9:30~12:30 (予定)
2. 会場：統計数理研究所 大会議室  
〒190-0014 東京都立川市 緑町 10-3
3. 参加費：正会員、後援学会員 3,000 円、非会員 5,000 円(事前申込の場合は各 500 円引き)、学生(会員、非会員とも) 1,000 円(学生は割引はございません)
4. テーマ：「適応的デザインとその応用」  
オーガナイザー：星野崇宏(慶應義塾大学)・田栗正隆(横浜市立大学)

### 内容

近年では医学や工学、心理学といった伝統的にランダム化比較試験(RCT)が行われる分野だけでなく、政治学や経済学など幅広い研究分野において、さらには社会のあらゆるところで無作為化実験が実施されている。Web サービスやネットショップなどのマーケティングやアドテックと言われる分野では、A/B テストという名称で RCT が実施されている。さらに顧客のページ閲覧や購買頻度に応じて条件提示の頻度を変える目的変数適応的デザインや、同一顧客の過去の反応に即して対応を変える様々な実験が行われるようになってきている。医学でも従来行われている小標本での共変量の分布の偏りに注目した共変数適応的デザインに基づく RCT に加えて、個別化医療の文脈において適応的デザインを伴うベイズ流のアプローチなども実施されるようになってきた。これらの方向性はより効率的な研究デザインの実施という考え方に加えて効果の異質性の理解や顧客・患者ごとの最適な施策・治療の選択という「因果効果の異質性の理解」にかかわる方法論的な要素や統計学・工学における逐次的意思決定の数理など理論においても応用・実践においても非常に重要な要素を含むものである。今回のチュートリアルでは応用統計学会・日本計量生物学会の会員にとっても関連分野の非会員にとっても重要な話題である適応的デザインについて、数理的な研究と医学・マーケティング等への応用の両面にわたって紹介を行う。

講師(予定)：星野崇宏(慶應義塾大学)・田栗正隆(横浜市立大学)：適応的デザインと因果効果推定—異質性の理解と個への対応—(仮)  
本多淳也(東京大学)：バンディットアルゴリズム(目的変数適応的デザイン)の数理(仮)  
平川晃弘(東京大学)：Precision Medicine を目指した適応的デザイン—バスケットデザインの理論と実践—

5. 申し込み方法：事前申し込みを受け付けます。事前参加申し込み方法につきましては、応用統計学会ホームページ <http://www.applstat.gr.jp/> をご覧ください。また、当日会場でも受け付けしますが、会場が満席となった場合、予稿集が完売となった場合は入場をお断りとするところがあるかもしれませんのでご了承ください。応用統計学会および日本計量生物学会の両会員の方は、事前参加申し込みはどちらか片方のみの登録で十分です。
6. その他：チュートリアルセミナーおよび年会当日に応用統計学会(年会費：5,000 円)への入会の意志を示された方は、チュートリアルセミナーおよび年会とも、参加費は正会員扱い致します。この機会に是非応用統計学会にご入会下さい。
7. 照会先：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町能楽書林ビル 5F  
(財) 統計情報研究開発センター内 応用統計学会事務局  
e-mail : [applstat@sinfonica.or.jp](mailto:applstat@sinfonica.or.jp), FAX : 03-3234-7868